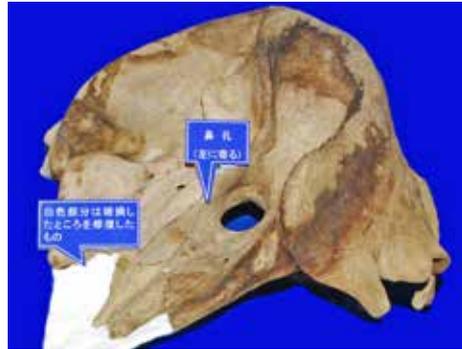


【特集】最近6年間の教育園の出来事

「自然教育園だより」はこれが最終号となります。誌面が大きく変わった2013年春号以降の「自然教育園だより」から、馬堀自然教育園および天神島臨海自然教育園のおもな出来事をまとめました。

コマッコウの頭骨を復元 [2012(平成24)年12月, 天神島]

2010年4月、天神島臨海自然教育園の保護水域内にある笠島にコマッコウの雄が死亡漂着しました。雄の成体です。本種は小型のハクジラ類で、世界中の暖かい海に分布していますが、生態がよくわかっていません。解体処分後に埋設しておいた頭部のみを2012年12月に発掘・復元しました。頭骨標本は長さが41cmで、この種では最大級です。



復元されたコマッコウの頭骨

2013年春号(vol.6 no.1)掲載

天神島にイルカがやってきた! [2013(平成25)年1月, 天神島]

1月31日、佐島の港内に2頭のイルカ(小型のハクジラ類)がいました。ハナゴンドウという種で、古老の漁師さんによると、この湾内深くにイルカの仲間が入ってきたのは初めてだったそうです。2頭はこの日のうちに無事に湾の外に出て行ったようです。



天神島に現れたハナゴンドウ

2013年春号(vol.6 no.1)掲載

自然教育園に台風の被害 [2013(平成25)年10月, 天神島・馬堀]

10月16日早朝に関東地方の東の海上を通過した台風26号は教育園に大きな影響をもたらしました。

天神島では海岸植生の一部が砂ごと流され、囲っていた保護柵の土台もむき出しになりました。近くで同年夏に確認されたハマナタマメ(県絶滅危惧種)は流され、笠島でも波浪による島内の砂の流出の影響から、11月8日の植物調査において、同年春に比べ海岸植物の全体的な減少が認められました。海岸にはゴミや材木などがたくさん流れ着き、普段あまり見られないカメノテの塊などが見られました。

馬堀では園路に多数の枝や葉が散乱し、谷道の観察路は水路となり、倉庫前のケヤキが倒れて電線が切れるなどの被害が出ました。



土台がむき出しになった保護柵。(天神島)



観察路をふさいだケヤキなどの倒木(馬堀)

2013年秋冬号(vol.6 no.3)掲載

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.10 No.4

(2018年最終号)

2018年3月28日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

【特集】最近 6 年間の教育園の出来事

浦賀水道の重油流出事故で天神島にも重油が漂着 [2014 (平成 26) 年 3 月, 天神島]

3月18日、浦賀水道で貨物船同士による衝突沈没事故が発生しました。沈没した貨物船より重油の流出が確認され、重油は東京湾、相模湾でも漂着が確認されました。天神島周辺の佐島沿岸では、その影響を受けて同年のヒジキ漁が解禁されませんでした。天神島で重油の漂着が確認されたのは3月25日の午前中で、潮だまりに油膜が張っているなどの状況が確認されましたが、その後除去作業を行い、海岸の生物への影響は見られませんでした。

2014 年夏号 (vol.7 no.2) 掲載



岩に付着した重油 (天神島)

天神島にマンボウ漂着 [2014 (平成 26) 年 6 月, 天神島]

6月8日、教育園スタッフが磯の岩の間に不思議なものを見つけました——波に合わせてグニャグニャと揺れる、大きくて白い物体。岩にあげて広げたとこ、前後 110 cm、背腹 80 cm ほどもあるマンボウだと分かりました。マンボウの体は左半身が切り取られたように無くなっていて、どんな過程を経てここへ漂着したのか、不思議でした。

2014 年夏号 (vol.7 no.2) 掲載



天神島に漂着したマンボウ

10月にハマユウが咲いた！ [2014 (平成 26) 10 月, 天神島]

横須賀市の花であるハマユウ（ハマオモト）は暖地性の植物で、日本では南西諸島から本州の南岸にかけて生育しています。天神島はハマユウが自生する北限地として有名です。ハマユウは夏の花で、花期はふつう 6 月下旬～9 月上旬です。この年は天神島で、10 月 23 日の 14℃という気温の中で花を咲かせました。

2014 年秋冬号 (vol.7 no.3) 掲載

天神島に教育園南口を新設 [2015 (平成 27) 年 3 月, 天神島]

3月にビジターセンター側に新たな出入口（南口）が完成したことにより、天神島を一周できるようになりました。景観や豊かな海岸生物の観賞・観察がよりいっそう便利になりました。天然記念物に指定されているハマオモトの自生地までは、この南口からだとわずか 20 m ほどでご覧いただけるようになりました。

2015 年春号 (vol.8 no.1) 掲載



10月に咲いたハマユウ (天神島)



完成直前の南口 (天神島)

【特集】最近6年間の教育園の出来事

キイロスズメバチの巣を除去 [2015(平成27)年10月, 馬堀]

10月9日、馬堀自然教育園でスズメバチ類の巣を撤去しました。9月下旬、園内の木の高いところに大きな巣が見つかり、それが園路に近かったため駆除業者をお願いしました。巣の大きさは、高さが約50cm、幅が約40cm。中には5階建ての巣盤がありました。巣の中にはキイロスズメバチの働きバチのほか、来年の新女王バチと雄バチもいて、合計で約300匹もいました。

2015年秋冬号(vol.8 no.3)掲載



撤去したキイロスズメバチの巣(左)と中身(右)

馬堀自然教育園が天然記念物に指定 [2016(平成28)年2月, 馬堀]

馬堀自然教育園では、開園後60年近くも植生が維持・保全されてきました。三浦半島の自然の現況を考えると、馬堀自然教育園の保存と活用が今後さらに重要になると考えられたことから、平成28年(2016年)2月、同園が横須賀市の天然記念物に指定されるという運びになりました。

2016年春号(vol.9 no.1)掲載



天然記念物指定をお知らせしたポスター図案(シラカシ)

絶景スポット出現! [2016(平成28)年3月, 馬堀]

2015年11月から2016年3月にかけて、安全上の理由から馬堀中学校側の斜面の一部に崩落を防止する工事を行いました。稜威(みいつ)神社跡地の鳥居や石段のすぐ近くの場所では、それまで木々に囲まれていた環境が一変、中学校の校舎越しに東京湾や猿島が望める絶景スポットになりました。

2016年春号(vol.9 no.1)掲載



馬堀自然教育園から望む東京湾

天神島の赤潮と夜光虫 [2016(平成28)年5月, 天神島]

5月末、天神島の広い範囲で赤潮が観測されました。赤潮とは、海水の富栄養化や雨による塩分濃度の低下により、植物性プランクトンである夜光虫が大量発生して起こるものです。

2016年夏号(vol.9 no.2)掲載



天神島の赤潮

特別展示「天神島大冒険!」の開催 [2016(平成28)年7月]

1966年開園の天神島臨海自然教育園は2016年、開園50周年を迎えました。博物館本館では、これを記念した特別展「天神島大冒険! ~海とくらす生き物たちの樂園~」を7月~9月に開催しました。展示の一部は10月~11月に天神島ビジターセンター講座室において巡回展として公開しました。

2016年夏号(vol.9 no.2)掲載



特別展示「天神島大冒険!」の様子

【特集】最近6年間の教育園の出来事

数十年に一度の開花！リュウゼツラン [2016(平成28)年7月, 天神島]

天神島の北口管理棟前でリュウゼツランが開花しました。植栽されているうち1株が、茎を4m以上伸ばしてつぼみをつけ、7月に花が咲きました。日本では30～50年に一度花を咲かせます。天神島には10株ほどあり、これまで6～7年おきに花を咲かせています。

2016年夏号(vol.9 no.2)掲載



天神島のリュウゼツラン。左：つぼみ(6月17日), 中：花(7月24日), 右：下部の花の拡大(7月27日)

天神島に降った雹(ひょう) [2017(平成29)年7月]

7月18日、天神島に雹が降り、花ざかりのハマオモトの茎が折れたり葉が傷ついたりするなどの被害がでました。7月下旬にはそれ以降に成長したつぼみが開花しはじめ、ふたたび活気を取り戻しました。

2017年秋号(vol.10 no.2)掲載



雹によって茎が折れたハマオモト(天神島)

馬堀自然教育園のササかざり [2017(平成29)年7月, 馬堀]

7月に教育園の中央広場とそのまわりの園路の除草を行いました。フェンスや電線にからみついたクズ、フジ、テイカカズラなどの除去や、2mを超えるアズマネザサの伐採によって、園内の視界がずいぶん開けました。伐採したササは、本館の『季節展示「七夕」』で展示したほか、上町商店街のアーケードで七夕かざりに利用していただきました。

2017年秋号(vol.10 no.2)掲載



馬堀のササを使った季節展示「七夕」

学習棟にアクアテラリウムができました！ [2018(平成30)年2月, 馬堀]

2月14日、馬堀自然教育園の学習棟にアクアテラリウム水槽を設置しました。アクアテラリウムとは、水槽などの容器の中に水中と陸地の環境を同時にデザインしたものです。馬堀自然教育園の魅力でもある豊富なシダ類やコケ類を中心に園内から様々な植物を移植し、下の池からはメダカやエビ類などの動物も移すことにより、園内の自然の一部をいつでも観察していただけます。

2018年春号(vol.10 no.3)掲載



馬堀自然教育園のアクアテラリウム

本誌は、平成30年度から「博物館だより」として、博物館、馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園、ヴェルニー記念館の情報をお伝えしていきます。どうぞお楽しみに！

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館)： 横須賀市深田台95 電話 046(824)3688 Fax. 046(824)3658

天神島臨海自然教育園： 横須賀市佐島3-7-3 電話(Fax.) 046(856)0717

馬堀自然教育園： 横須賀市馬堀4-10-3 電話(Fax.) 046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>



博物館ホームページ